牧之原小 (学)

小中一貫校を目指した牧之原小中教育目標

一 協力平 夢ある未来を切り拓く 一





よりよいものを 創りあげる子

協思いを 伝え合える子

重点目標 勇気と優しさとわたし

協主体的に 挑戦する子

~日本一楽しい学校~

をもって貫き

をもって接し

勇 をもって行う

重点目標

踏み出す私 高めあう仲間

学力向上・学びの連続性

9年間のつながりを意識した授業を展開し、めざす子ども像を目指します

子どもたちが楽しい と思える授業

「わかりやすい授業を展開し、「確かな学力」 「主体的に考える力を身につけます。

○学習のルール(発表、話し合い、聴き方の 約束)の統一

〇合同研修会(1年目の目標;分かり合う)

- ・普段授業の参観(中学:初任、若手:週1)
- 道徳授業の参観

※授業参観;小学校→中学校はできる範囲で

○乗り入れ(音楽;中学→4,5,6年生) 〇6年生の中学校体験授業(年2回実施)

〇特別支援学級の交流(農園活動;毎週火曜日)

Oアースランチコンテスト

育ちをつなぐ

「共通の生活の約束」

子供たちの夢を育み、生き方を支援するキャリア教育を推進します

子どもたちの持っているよさ (勇気と優しさ、誠実)が輝く

◎9年間を通して、子どもたちに主体的に考える力を身につけさせます⇒・児童会、生徒会活動(自治活動)・いじめ防止宣言(小中共有)引き渡し ◎郷土を愛する心を育みます⇒「牧之原のひと・もの・こと」を学ぶ・キャリア教育「起郷家」「行事の合同実施」「小中生活交流[グリーンベルト)」

身につけさ せたい力1

表現力 の育成 伝え合う力を育成するために「話し合い活動」を積極的に取り入れます。自信を持って表現できるように子供ファーストで考えます。

- 自分からあいさつや返事をする。
- 話をわかろうとして聴く
- 自らやるべきことを見つけ積極的に取り組む。
- 自分の特性に気づき、自分らしさを発揮する。
- 自分の考えを相手がわかるように伝える。
- 目標達成に向けて粘り強く取り組む。



身につけさ せたい 力 2

コミュニケーションカ の伸長 「互いに高めあう人間関係(協力平の精神)」を育成するために、グループ・班・学級・学年活動、縦割り活動、小中合同活動を充実させます。

- ありがとう、ごめんなさいを言う。
- 係活動に取り組みその大切さがわかる
- 相手の意見を聴き、協力して物事に取り組む。
- 思いやりの気持ちを持ち他者の立場で考え、行動する。
- 自分と周囲の人や物事との関係性を理解し、行動を選択する
- 仲間とより良い解決策を検討しながら、課題解決に取り組む



コミュニティスクール の推進(地域・学校)

子どもたちの夢が 溢れる

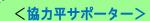
<CS 設置を意図した学校評議員会>

- ・ 小中共通の評議員
- CSディレクター ・学校支援サポーター →
- ・ 小中共通の教育方針(重点目標)

学校支援地域本部

学校支援コーディネーター

- ボランティア派遣ボランティア交流会輝楽さん



祖父母の会

学習支援

企業

地 域

教育後援会



